

# SOBA開発成果発表会 信州大学様向け「土中水分量分析システム」構築

## 「地方創生に資するデータ活用プラン」補助金事業

---

2016年5月23日

# アジェンダ

1. 案件概要
2. 受注・取組み経緯
3. 開発体制
4. マスタースケジュール
5. システムの位置づけ
6. システム概要
7. 構築成果の報告
8. まとめ

# 1. 案件概要

✓ 総務省委託事業の補助金事業

「地方創生に資するデータ活用プラン」

✓ 委託事業主：VLED

(一般社団法人オープン&ビッグデータ活用、地方創生推進機構)

✓ 補助金獲得主体：信州大学

✓ 内容：塩尻市が市内各所に設置したセンサー（今回：土中水分量）のネットワークから得られるデータを収集・変換（既存）しオープンデータ化、分析、オープンデータ公開（新規）するシステム

## 2. 受注・取組み経緯

(順不同、敬称略)

✓ 6/29 案件打合せ（参加表明企業：オフィスP'dj、サイコムテクノロジー、ユリーカ）

✓ ↓ 信州大学、ベル研の共同作業による応募書類作成

✓ 7/9 VLED主催公募プレゼン

✓ 7/16 補助金獲得・減額

応募20件、信州大学は1位

✓ 7/28 案件打合せ（参加表明企業）

✓ 減額予算内での実現機能範囲検討

⇒協同受注によるオーバーヘッド懸念で、ユリーカー社での

対応のお申し出をいただく ⇒ 拝受した

# 3. 開発体制・費用

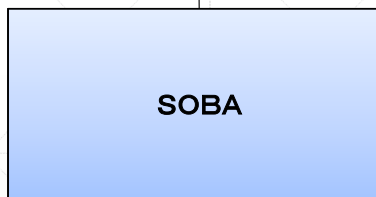
(順不同、敬称略)

《発注者》



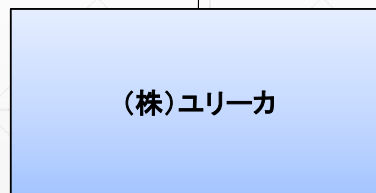
- ・要件提示
- ・データ構造設計

《受託者》



- ・PM
- ・各種調整

《再受託者》



- ・設計
- ・開発
- ・実装

# 4. マスタースケジュール

	項目	10月					11月				12月				備考	
		1W	2W	3W	4W	5W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W		
A0	要件定義	→														
B1	設計	環境関連		→												
B2		DB関連	→													
B3		データ変換・分析関連			→											
C1	開発	環境関連					→				→					
C2		DB関連			→											
C3		データ変換・分析関連					→									
D1	単体テスト	環境関連					→				→			11月1W～：開発、12月2W～：本番		
D2		DB関連								→						
D3		データ変換・分析関連								→						
E1	既存DB、新クラウド設定								→						トラスト様	
F1	結合、総合テスト												→			
G1	マニュアル作成												→			

✓ 本格取組み： 10～12月

✓ ほぼ予定通り2015年12/末納品

# 5. システムの位置づけ

## 塩尻市センサーネットワーク



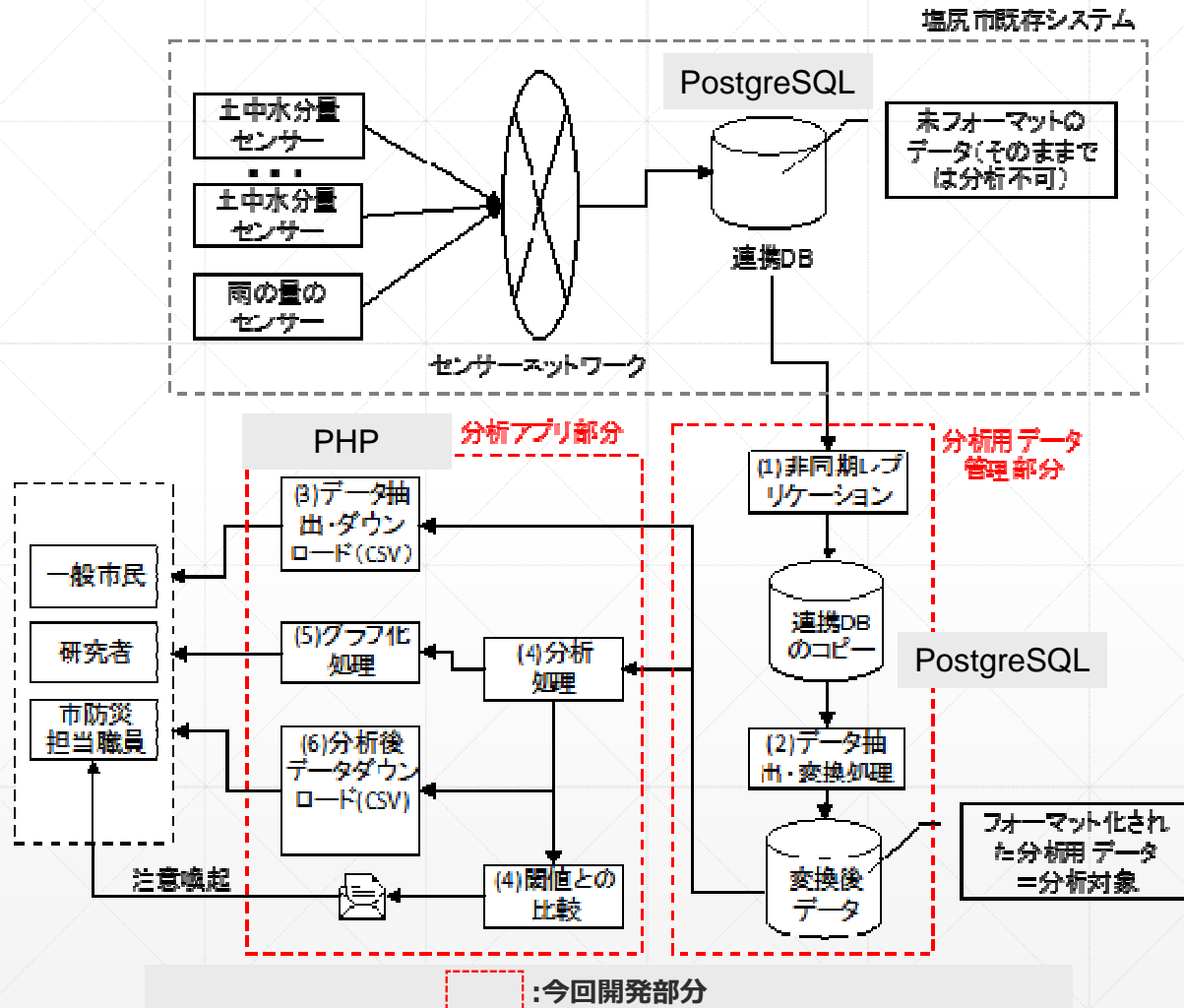
### 課題の内容と解決

IoTの社会的要求により、更に電気、ガス、水道、下水道などの用途が広がるが、「ICT街づくり推進事業」のプラットフォームを信州大学・東京大学の協力を得てブラッシュアップしながら、今後IoTの基礎技術やセキュリティ技術を含め、横展開を地域モデルとして行う。

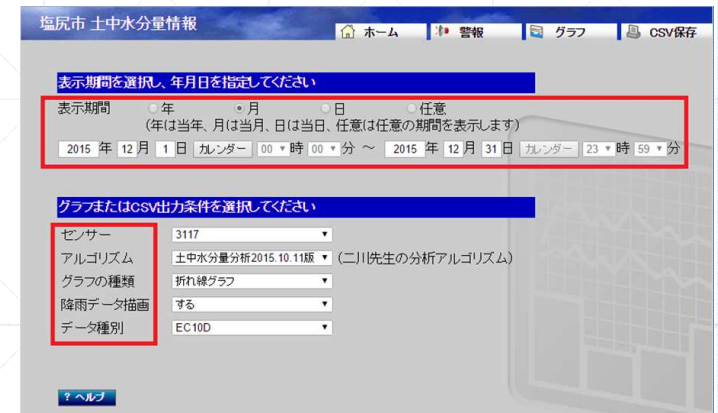
© 2011 Shizuoka City. All Rights Reserved.

(c)Eureka Co.,LTD , inc. 2015 All Rights Reserved.

# 6. システム概要



《指示画面》



《グラフ画面》





# 7. 構築成果の報告

✓ 2016年1月7日（塩尻市役所）

✓ 塩尻市防災関係者への報告

✓ 土砂災害予見検証の信州大学、静岡大学、岡山大学によるプレゼン

✓ 2016年2月24日（東京）

✓ VLED成果報告

✓ 内容は好評の由

⇒システム開発の目的、ミッションが果たせました！

## 8. まとめ

(順不同、敬称略)

### ✓苦勞したこと

- ✓ 減額予算内での機能最大化
- ✓ 要件の確定に時間を要した

### ✓成功要因

- ✓ ステークホルダーとの調整 (鈴木@SOBAの立回り)
- ✓ プロジェクトマネジメント ( 同、マイルストーン設定、信大打合せ確保)
- ✓ 関係者様のご協力 (オフィスP'dj、サイコムテクノロジー、トラストネットワークス、  
信越ソフトウェアエンジニアリング、塩尻市)
- ✓ 事前の実現可能性検証 (DBレプリカ、gnuplot、他)

ご清聴ありがとうございました。



私たちは信頼に応えることができることを  
最高の喜びと感じます。